

[Precis Med \(Bangalore\)](#). 2016;1(1):18-33. Epub 2016 Aug 1.

脳報酬系のバランスを良くし依存行動を減少させるカスタマイズ化

DNA 管理栄養の利点

要約

栄養補強食品の DNA カスタマイゼーションについて以下に述べます。真の意味で、「遺伝子誘導精密栄養」及び(アミノ酸、トレースメタル及びハーブの複合混合物である)KB220 バリエント(多様体)は DNA カスタマイゼーションの先駆であり最先端の技術です。欲求及び快樂志向を形成する遺伝子の働きに関する、ケネス・プラム博士及びアーネスト・ノーブル博士の二人による発見は、遺伝子がどれほど私たちの行動を規制しまた心身の健康に影響を及ぼしているかを理解する扉を開けました。さらに、遺伝子発現に影響を及ぼすことで過度な欲求を抑え、あるいはなくすための KB220 バリエント(多様体)に関する技術は、栄養遺伝学の実践的適用に向けた先駆けとなっています。その後続いた様々な発見は、栄養遺伝学の進化、発展および科学的認識を促す重要な触媒効果となり、さらに人類の健康へ驚異的に貢献しています。今日では「神経栄養遺伝学」は人の健康改善に大きな効果が期待できる科学的研究の非常に重要な分野になっています。その最前線には 23andMe とは異なり、他の非薬物関連性依存行動ばかりでなく薬物及びアルコール依存の過酷さを教えてくれる遺伝子依存リスクスコア (GARS) の開発があります。神経栄養食品の製造はまだ商品化されておりませんが、近い将来この概念が発展し依存症薬剤に重要なインパクトを与えるだろうという確たる証しがあります。